

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/26

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.19	0.09
JPY/THB	0.2151	-0.0005
USD/JPY	149.80	0.90
EUR/THB	37.58	-0.11
EUR/USD	1.1666	-0.0072
USD/CNH	7.145	0.008
SGD/THB	24.90	-0.01
AUD/THB	21.08	-0.06
USD/INR	88.67	-0.03
USD Index	98.55	0.68

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.211	0.044
10Y (THB)	1.413	0.058
5Y (USD)	3.760	0.043
10Y (USD)	4.170	0.023

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,738.7	3.7
WTI (Oil)	64.98	-0.01
Copper	10,259.5	-77.0

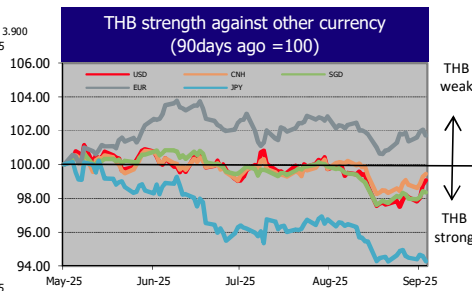
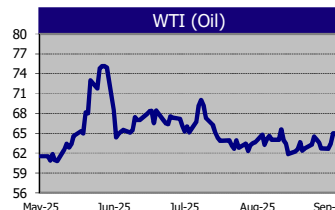
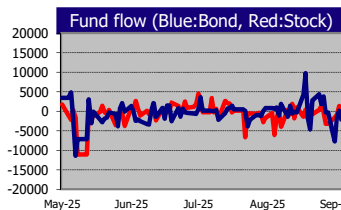
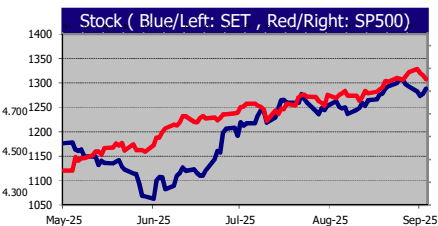
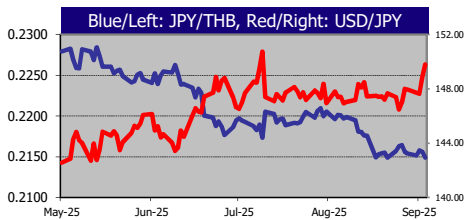
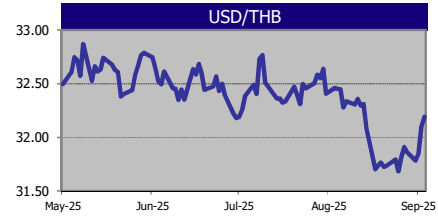
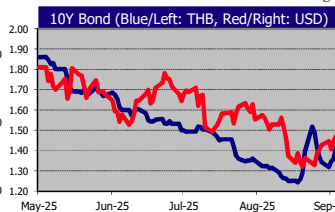
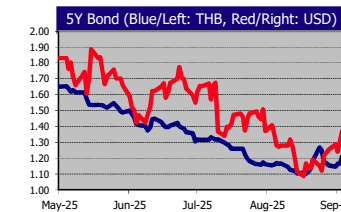
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,288.26	9.85
NIKKEI (JP)	45,754.93	124.62
DOW (US)	45,947.32	-173.96
S&P500 (US)	6,604.72	-33.25
SHCOMP (CN)	3,853.30	-0.34
DAX(GER)	23,534.83	-131.98

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	841	-486.0
Bond net flow	(2,186)	-2329.9

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドル・パーツ

昨日のドル・パーツは続伸。アジア時間、32.10パーツ近辺で取引を開始したドル・パーツは前日の流れを引き継ぎ底堅く推移。アステイン首相が来週の所信表明演説の概要を公表するも市場の反応は限定的。その後もドル・パーツはじりじりと上昇を続け一時32.20パーツ近辺を付けたが、欧州時間入り際に反落し32.10パーツ台で海外時間へ。米国時間に発表された米第二四半期GDPの結果が市場予想を上回ったことを受けドル買いが優勢となるとドル・パーツは一時32.30パーツ近辺まで上昇。引けにかけては値を戻し32.20パーツ台でクローズした。

●ドル円その他

ドル円は148円台後半で取引を開始。序盤は前日の上昇を巻き戻す格好で148円台半ばまで下押しも、その後は買い戻しが入る展開。しかし前日の高値を上抜ける程の手掛りに欠け、148円台後半で海外時間に渡った。NY朝方に発表された米第二四半期GDPの結果を受け、149円台後半まで上昇。午後米金利が高水準で推移する展開が支えとなり底堅い推移が継続し149円台後半でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

今週、ドル・パーツは32パーツ台を回復。今月初旬に32パーツを割り込んだ後、安値圏で推移していたが米指標結果等をきっかけに反発した。昨日発表された米GDPの結果が市場予想を上回ったことも追い風となり、足元では32.20パーツ台で推移している。パーツとの相関が指摘されていた金価格が上昇一服となったことも、パーツ安への転換を支えたものとみられる。金価格の下落は、堅調な米経済指標の結果を受けたものと見られ、米経済指標結果を受けてドル高となったのか、米経済指標結果を受けて金価格が下落しパーツ安となったのか、どちらの寄与度が高いかを知ることは難しいが、結局は米国次第という構図を改めて突き付けられているようにも感じられる。その米国では、政府機関の閉鎖に注目が集まる。つなぎ予算案が可決されない場合、来週にも政府機関が閉鎖される見込みだが、トランプ大統領はその場合に備え、政府職員を大量解雇する計画をまとめるように指示している。仮に政府職員が大量解雇された場合、悪化が指摘されている労働市場に追い打ちをかけることが懸念され、米利下げスケジュールにも影響しよう。足もとでドル安・パーツ高に一服感が見られているが、安心するのはまだ早いのかも知れない。(綱島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.